

<< 令和6年度 NMAT アドバンス研修会 >>

担当校が水浸し&相談連絡来た～💧避難所にもなっちゃった💧
そのうえ感染症も発生！！ どうする学校薬剤師？NMAT 会員？

さて表題を見て、まさかそんなこと無いでしょう？って思われた先生方！ところがあるんです、実際に！学校薬剤師として担当している学校が被災する事や避難所になることはあります。現在の日本では、災害はいつ起こっても、不思議はないのです。相談電話が来たらどうしましょう？困るなあ、嫌だなあ・・・と思われた方こそ、ぜひ今回の研修会へ！

今回のテーマは、そういったお悩み解決のための学校が被災した時の対応を考える研修会です。そのため、災害に関心の高い薬剤師だけではなく、学校薬剤師の先生方にも一緒に考えていただけたらと思っています。

今回は、医療救護所や避難所での薬剤師に求められる公衆衛生に関する知識等を、実際に、学校薬剤師として担当校が被災した経験を持ち、且つ能登半島地震医療支援活動を実践された「さいたま市薬剤師会 理事 池浦恵先生」をお招きします。学校薬剤師としての活動内容と、被災地に赴き、実際の現場で起こった内容をもとに、どんなことを考えて、薬剤師としての任務を果たしていくのかを本研修会の演習を通して伝えていただきます。最初の一步を踏み出すための研修会です。分からない状態で大丈夫です！タイトルを見て困るなあ・・・と思われた先生方の御参加をお待ちしております。

○研修目的

水害発生時の対応や感染症対応といった知識の習得

学校薬剤師（環境衛生管理等に強い・学校管理責任者が分かる）×NMAT 会員（災害に強い）

⇒それぞれの強みと活かし方を知る

刻一刻と変化していく状態の中で完璧な正解を見つけることが困難であることを知る

○参加対象者

学校被災時の対応がよくわからない学校薬剤師&NMAT 会員

☆災害時の対応も学校内の対応も熟知されている先生方のご遠慮ください☆

○開催日時 2025 年 3 月 11 日 19:30～21:00

○開催場所 ココネリ 研修室1



水害後の教室